

決 裁	議 長 西田	局 長 等	次 長	リ-ダ-	担 当	合 議 山内 井上 山内
--------	-----------	-------	-----	------	-----	-----------------

令和5年8月21日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 深澤 巧

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和5年8月16日
- 2 活動場所 (株) 廣瀬行政研究所 地方議会セミナー  
京都JAビル 会議室 (京都市 南区 予定開催場所変更)
- 3 活動目的 セミナー受講  
「予算・決算審議における基礎知識と  
効果的な審議手法」  
講師：廣瀬 和彦氏  
(元全国市議会議長会 法制参事)
- 4 活動内容  
講義 ①「予算・決算における基礎知識」  
講義 ②「効果的な予算・決算の審議手法を考える」
- 5 活動成果  
全国9市町議会より10名の参加があった。各議会での委員会審査、構成、  
議選監査委員のあり方、現状についても意見交換をした



- ① 予算・決算に関わる財政用語の詳細な解説があった。特に、地方交付税制度、税額決定方法と仕組み（基準財政収入額算定における留保財源の取扱い）や臨時財政対策債についてあらたに学べた。
- ② 予算の審議手法として特別あるいは常任委員会を設置し、各常任委員会を分科会として審査する分割付託方式における長短所の指摘があった。また、審査においてはサンセット方式が取り入れられているのか、を質すなど効果的な質疑の具体例を学んだ。
- ③ 予算決算審査の連動（PDCA サイクル）による議会の行政評価・政策提案は地方議会の議会改革の課題である。予算時には必要な資料（養父市のような実施計画）を求め、決算時には決算カードや総務省 財政状況資料集（養父市では HP で公開）などをもとに、一步踏み込んだ各施策や財政の推移に着眼する質疑、質問が求められる、とされた。
- ④ 委員会での自由討議は議会機能の充実を目的に基本条例で導入されてきた。委員会審査でのファシリテーション手法の確立の重要性が今回も指摘された。自由討議を活用し有効な合意形成を図り、政策提案として当局に迫る、このような機能が意識されていないのが現状である。  
予定されている議運による基本条例の検証作業でこの自由討議のあり方について十分研究されたい。

以上

決 裁	議 長 雷	局 長 等 桂	次 長 田	リ-ダ- 田	担 当 井	合 議 田 井 山
--------	----------	------------	----------	-----------	----------	--------------

令和5年11月20日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 深澤 巧

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和5年11月13日
- 2 活動場所 社会福祉法人 兵庫県視覚障害者福祉協会（神戸市中央区）
- 3 活動目的 県内の視覚障がい者の現況と  
政策支援のあり方についての調査
- 4 活動内容  
意見交換及び点字図書館などの施設見学  
(午後1:00~2:50)  
福祉協会 対応者  
協会会長 大谷 武さん  
総務・生活支援班 班長 小林 由夏さん
- 5 活動成果

今年度、市内でおこなわれた視覚障がい者当事者による料理教室において協会訪問を申し出、快諾を受けた。特に大谷会長（相生市在住 全盲）には今回の議員訪問を大変喜んでいただいた。



① 協会の組織と業務について

【組織】

昭和 21 年設立に県盲人協会として設立。初代会長 県知事 岸田幸雄。現在県内では約 500 人が会員活動、全国の連合会として各都道府県及び政令都市に法人組織がある。

基本金（出損金）1 億円。平成 24 年に財団法人から社会福祉法人化されている。

【業務】







- 1 視覚障害者情報提供施設（点字図書館）経営 兵庫県指定管理
- 2 同行援護支援センター経営
- 3 身体障がい者相談支援事業
- 4 視覚障害者用日常生活用具等のあっせん事業
- 5 視覚障がい者の文化活動 スポーツに関する事業
- 6 幼保連携認定こども園経営（明石市）
- 7 一時預かり事業

② 調査内容

- ・後天性視覚障がい者に対する現代医学治療の期待について
- ・小学校などでの障がい者交流教育のあり方について
- ・行政の障がい者理解への啓蒙のあり方について
- ・養父市における「青い鳥学級」廃止について
- ・市の Y B ファブの障がい者配慮の設備と改善について

以上の調査をもとに、市の障がい者支援の施策実現について議会から具体的な施策提言をおこなっていききたい。

以上

決 裁	議 長	局 長 等	次 長	リーダ－	担 当	合 議
						

令和6年1月23日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 深澤 巧

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動 月日 令和6年1月17日・18日・21日
- 2 活動 場所 自宅（養父市大屋町宮本115番地）
- 3 活動 目的 株式会社eラーニング講座 研修
- 4 活動 内容 下記内容のオンライン研修

①「地方議員 政務活動費の基礎講座」

元 全国都道府県議会議長会 事務局次長 内田 一夫 氏

②「議会質問・議会答弁講座」

～住民にわかりやすい議論にむけて～

元 徳島県 川島町長

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健 氏

③「地方議員コンプライアンス講座」

元 衆議院法制局職員

東京弁護士会所属 太田 雅幸 弁護士



## 5 活動成果

議会事務局から案内があったオンライン講義をうけた。3講座とも議会人として基本的かつ今日的テーマであり、2カ月間の間、何度でも復習受講ができるシステムであった。今後、適切なものがあれば会派などでの研修に活用していきたい。講座終了後に履修テストがあったが70点台の点数であった。反省する。

### ①「地方議員政務活動費の基礎講座」

養父市議会においても政務活動費の額について見直しが検討される。他市に比べ額が少ない云々程度の議論でなく、法律、条例の定めをよく理解すべきで、このような講習を議運や議員全員で受け共通理解が必要と思った。

平成24年法改正で加えられた広報紙や要請陳情等の活動費については、市条例の中に明確に示されていないので検討を要する。

### ②「議会質問・議会答弁講座」

当局側の答弁、議員の質問についてのあり方の指摘があった。講義の内容は常に自分自身が一般質問などで心構えている事柄と一致し、自信を得た。

#### 【一般質問の論点整理と当局答弁をいかに引き出すか】

- 1 なぜこの市民地域課題を取上げるのか、その意図と動機を明示する。
- 2 事前調査を充分行う。問題点を具体的に示し、市民に何が問題なのかがよくわかるような答弁を求める。
- 3 肝要な点は市長の考えを引き出す。そのためには熟考した原稿が必要。
- 4 机上の論でなく、議員の主導権で議員活動から導いた質問に徹する。前向きな答弁があった場合も今後の見通を押さえておく。

### ③「地方議員コンプライアンス講座」

議員は法令順守（コンプライアンス）にとどまらず、政治的倫理を自ら律し、常に説明責任の義務がある、ということである。議会という狭い村社会的な感覚に陥らず、常に皮膚感覚で市民の信頼感を感知する能力が求められる。

昨今、議員、議会の軽薄化を指摘されることもあるが、改めて市議会基本条例や議会議員政治倫理条例を座右の銘として活動をしたい。

以上

# Certificate

修了証書

養父市議会  
深澤巧 殿



株式会社  
きようせい

has successfully completed the course

以下の講座を修了したことを証明します。

地方議員政務活動費の基礎講座



株式会社きようせい

代表取締役社長 成吉 弘次

*Kariyoshi Koji*

修了日 2024年 1月 17日

# Certificate

修了証書

養父市議会  
深澤巧 殿

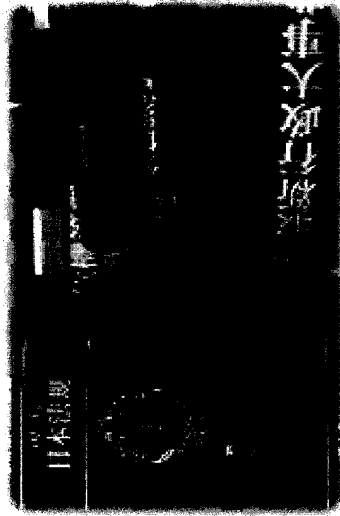


株式会社  
きようせい

has successfully completed the course

以下の講座を修了したことを証明します。

議会質問台議会答弁講座～住民にわかりやすい議論にむけて～



株式会社きようせい

代表取締役社長 成吉 弘次

*Kanigoshi Koji*

修了日 2024年 1月 18日



# Certificate

修了証書



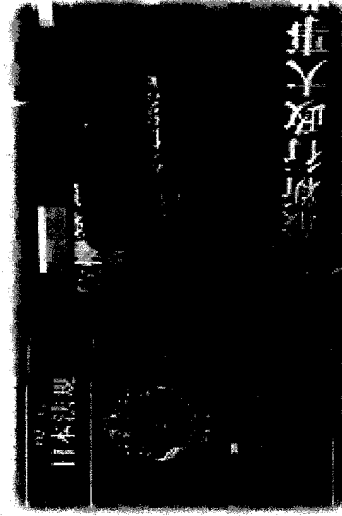
株式会社  
なぎよし

養父市議会  
深澤巧 殿

has successfully completed the course

以下の講座を修了したことを証明します。

地方議員コンプライアンス講座










株式会社なぎよし

代表取締役社長 成吉 弘次

*Navigoshi Koji*

修了日 2024年 1月 21日

決 裁	議 長	局 長 等	次 長	リ-ダー	担 当	合 議
						 

令和6年2月13日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 深澤 巧

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動 月日 令和6年2月4日～5日
- 2 活動 場所
  - ① 全国町村会館 2階ホール  
東京都千代田区永田町
  - ② 衆議院第二議員会館 谷 公一代議士事務所  
東京都千代田区永田町
  - ③ 農林水産省 高橋 光男 農林水産大臣政務官室  
東京都千代田区霞が関
- 3 活動 目的
  - ① 管外研修  
議会改革「政策サイクル推進地方議会フォーラム」公開セミナー
  - ② 養父市における子ども施策の実現と充実に関する  
陳情と意見交換
  - ③ 養父市における新規就農者への支援施策と  
水田活用の直接交付金「水張ルール」の見直しに関する  
陳情と意見交換



#### 4 活動内容

##### ① 日本生産本部主催

「ミライの議員・議会のために

～住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル～」セミナーにて

- ・江藤 俊昭 氏（大正大学教授）
- ・大杉 覚 氏（東京都立大学 教授）
- ・林 晴信 氏（西脇市 前議長）

上記、3氏の講演の受講した。

② 衆議院 地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会 谷 公一委員長への養父市における保育士の確保など国施策の支援についての陳情と国施策の説明を受けた。

③ 農林水産省 坂本 哲志大臣への養父市における新規就農施策支援と水田活用の直接交付金「水張ルール」の見直しについての陳情書提出、高橋 光男大臣政務官と養父市の農業をめぐる課題についての意見交換をおこなった。

#### 5 活動成果

##### ① について

日本生産本部が立ち上げた地方議会改革プロジェクトの企画セミナーであった。北海道 栗山町議会、福島県 会津若松市議会などからの参加があった。先進地議会、議会人には及ばないが、議会改革、議員力向上に向けての自己意識に大きな刺激となるセミナー参加であった。

西脇市 林 前議長より同市の平成 25 年 基本条例制定後の議会改革の歩みの詳しい説明を受けた。予算、決算委員会における緻密な審査フロー、議選監査委員からの議会への監査報告会、議会による事務事業評価制度、議会報告会の形式変更、市民との意見交換会、それらをもとにして議会全体の政策提言をまとめ上げ、地域住民に寄り添った政策（予算化）を実現させている。

議員年齢、会派構成など特別の特徴はない議会であるが、基本条例制定以後、継続した議会改革へのエネルギーを保たれている印象を受けた。この 10 年間で 3 期 6 年間勤められた議長のリーダーシップと議会内 各議員間の合意形成に少なからずの努力をされていることがうかがわれた。

※ ②③については養父市議会での政務活動費使用 用途基準にはないが、平成24年の地自法改正において、会派等による国への政策陳情、国施策の調査研究等は政務活動として認められている。今後の参考事例にもなったと考えるので報告する。

## ② について

国の「こども未来戦略」のもとでのこども・子育て支援の各施策を要点レジュメで説明を受けた。

特に陳情項目である市における保育士などの確保について「保育士修学資金」の過疎地返還免除の特例の拡大や「地域限定保育士の全国展開」での国家戦略特区指定地区での優先性の活用など、今後の市施策の具体化に向けて議会で政策提案ができるものとして理解ができた。

谷事務所からは自治体施策と連動する国施策について、省庁実務レベルの担当者と市議会の勉強会を実現させた例があり、養父市議会でも実施されたい。事務所対応ができると伝えられた。

## ③ について

農林水産省大臣 高橋光男政務官と養父市の農業について意見交換ができた。市での若者就農支援、高齢農業従事者の農地維持のための努力、国の畑地化、「水張りルール」と市の現実との現状乖離、市での和牛振興、WCS稲耕畜連携、新しい堆肥センター建設、農業特区のあり方など具体的で詳細な内容に及んだ。

市議会での議論を踏まえ、市の農業の現状を陳情という形で国に申し出でることで、より一層施策の理解を深めることができた。これまでにない議員、会派活動であり有意義で貴重な体験として今後、是非活かしていきたい

高橋政務官も近日中に養父市での特区視察が予定されているとのことであった。機会があれば「特区」目線での視察でなく、新規就農者や子牛セリ市などの現場など市内の農業者に目を向けた視察を依頼した。

以上